

高知県感染症発生動向調査（週報）

2014年 第14週（3月31日～4月6日）

★お知らせ

○感染性胃腸炎に注意して！

定点医療機関からの報告数は前週の6.50から6.70と横ばいですが、中央西福祉保健所では前週比2倍以上増加し注意報値を超えています。また、定点医療機関からのホット情報ではロタウイルスによる胃腸炎が増加しています。例年12月頃に一度ピークをむかえた後、春になだらかな山となり、その後初夏まで継続するという流行パターンをとっています。今後も、排便後、調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

○流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）に注意して！

定点医療機関からの報告数は前週の1.80から1.67と横ばいですが、例年と比較すると高い値が続いています。また、須崎福祉保健所では注意報値を超えています。この病気は、2～3週間の潜伏期を経て、片側あるいは両側の唾液腺の腫脹・圧痛、嚥下痛、発熱を主症状として発症し、通常1～2週間で軽快します。接触、あるいは飛沫感染で伝搬し、その感染力は強い一方、感染しても症状が現れない不顕性感染が30～35%あります。合併症として髄膜炎、脳炎、睇炎、難聴などがみられ、成人男性には睾丸炎、成人女子には卵巣炎がみられることもあります。予防のため、患者も周囲の人もよく手を洗い、唾液がつく可能性があるタオルは別にしましょう。ワクチンの予防接種がありますが、任意接種になりますので、かかりつけ医と相談してください。

○ヒトメタニューモウイルス（hMPV）感染症の報告が増えています

定点医療機関からのホット情報でhMPVによる呼吸器感染症が増加しています。また病原体定点の検体からもhMPVが3例検出されています。このウイルスは、風邪のような症状をおこします。うがい、手洗い、咳エチケットをして注意しましょう。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）
↑ : 急増 ↗ : 増加 → : 横ばい ↘ : 減少 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	6.70	中央西、中央東で増加し、中央西では注意報値を超えています。
インフルエンザ	↓	6.00	全ての地域で減少しています。
流行性耳下腺炎	→	1.67	須崎、幡多、中央東で増加し、須崎では注意報値を超えています。
流行性角結膜炎	↗	1.33	高知市で4人に増加しています。
水痘	→	0.97	幡多、須崎で増加しています。

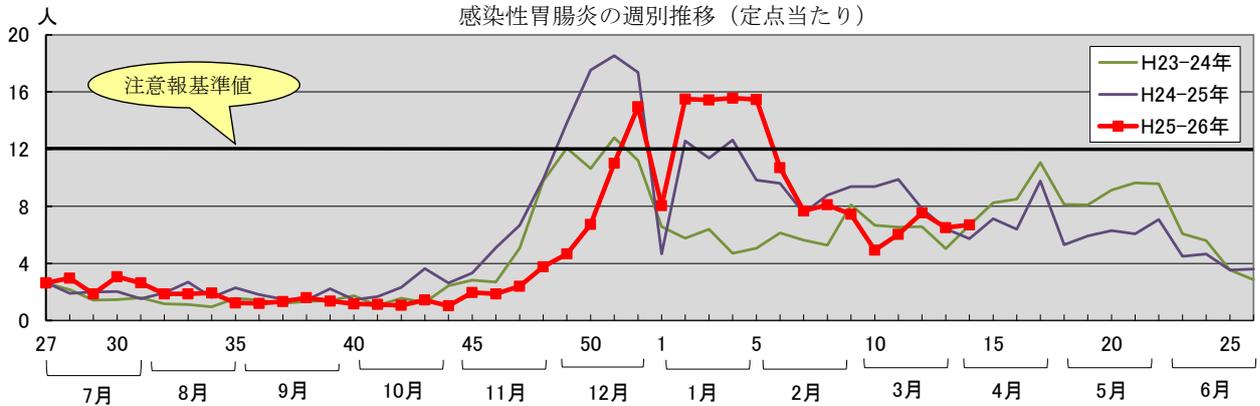
★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

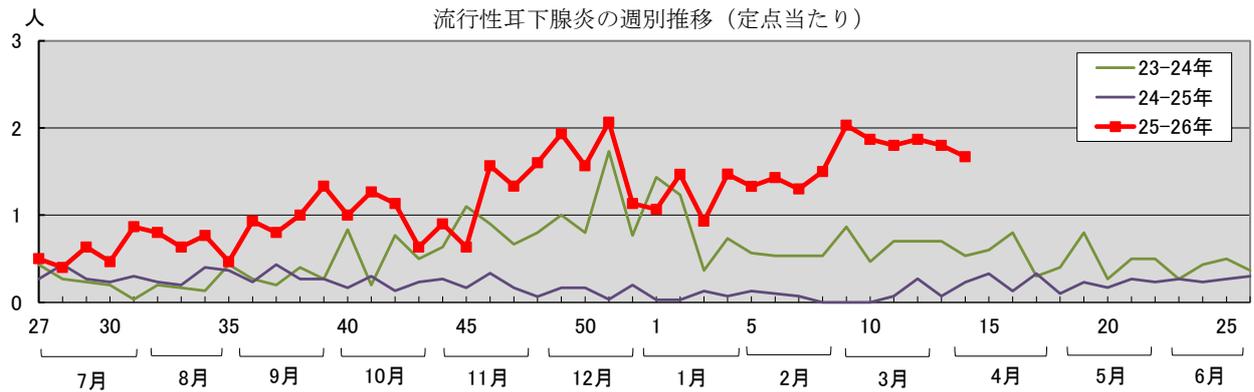
○**感染性胃腸炎：6.70**（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 6.70（前週：6.50）と横ばいです。地域別にみると、中央西（15.33：前週 5.67）中央東（4.00：前週 3.00）で増加し、中央西では注意報値をこえています。また医療機関のコメントでは、ロタウイルスの報告が増加しています。



○**流行性耳下腺炎：1.67**（注意報値：3.00 警報値：6.00）

定点医療機関からの報告は定点当たり 1.67（前週：1.80）と横ばいですが、例年と比較すると高い値が続いています。地域別にみると、須崎（4.00：前週 2.00）幡多（2.40：前週 0.80）中央東（1.14：前週 1.00）で増加し、須崎では注意報値を超えています。



★**病原体検出情報**

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
11	インフルエンザ	6	女	高知市	Influenza virus A H1pdm09
12	インフルエンザ	5	男	高知市	Human metapneumovirus
13	不明熱	11ヶ月	女	中央西	Adenovirus 2
13	不明発疹症	1	女	須崎	Coxsackievirus B2
13	喘息性気管支炎	1	女	中央西	Cytomegalovirus
13	右顔面神経麻痺	2	男	高知市	Epstein-Barr virus
13	無菌性髄膜炎	0ヶ月	男	中央東	Herpes simplex virus 1
13	インフルエンザ	1	女	高知市	Human metapneumovirus
13	喘息性気管支炎	1	女	中央西	Human metapneumovirus
13	インフルエンザ	30	男	須崎	Influenza virus B/Victoria※

※13週に受付し、PCR検査で検出したものを分離培養したものです。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	8	33	80 歳代 (男)	安 芸
				80 歳代 (男)、90 歳代 (女)	中央東
				40、70 歳代 (男)、80 歳代 (女)	高知市
				70 歳代 (男)	中央西
				50 歳代 (女)	幡 多
5 類	アメーバ赤痢	1	1	60 歳代 (男)	中央東

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	ロタウイルス胃腸炎 2 例 (1 歳男、2 歳女)
中央東	あけぼの小児科クリニック	hMPV 感染症 3 例 (1、2、4 歳) ロタウイルス胃腸炎 2 例 (11 ヶ月、7 歳) インフルエンザ 13 例全て B 型
	JA 高知病院小児科	おたふく 1 例 (6 歳男：南国市)
	野市中央病院小児科	インフルエンザ B 型 3 例 (2 歳女：ワクチン 2 回接種済み 9、11 歳男：ワクチン未接種)
	早明浦病院小児科	hMPV 1 例 (2 歳女) マイコプラズマ肺炎 1 例 (13 歳女：簡易検査陽性)
	いちはら内科小児科	インフルエンザ B 型 6 例
	高知大学医学部付属病院小児科	ロタ腸炎+ヒトメタニューモウイルス気管支炎 1 例 (1 歳女)
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (3 歳女、4 歳男：迅速診断陽性)
	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 1 例 (1 ヶ月女) ノロウイルス 1 例 (2 歳男) ロタウイルス 1 例 (1 歳男) アデノウイルス 1 例 (11 ヶ月男)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 2 例、B 型 6 例 咽頭結膜熱 1 例 (10 歳男)
	細木病院小児科	ノロウイルス 6 例 (1 歳 2 人、2、3、5 歳男、4 歳女) ロタウイルス 1 例 (1 歳男)
中央西	石黒小児科	口唇ヘルペス 1 例 (48 歳女) 水痘 1 例 (2 歳女：水痘ワクチン 1 回済み) 帯状疱疹 1 例 (48 歳女)
	日高クリニック	アデノウイルス感染症 1 例 (1 歳男)
須 崎	もりはた小児科	ロタウイルス胃腸炎 1 例 (1 歳女) 帯状疱疹 1 例 (5 歳男) マイコプラズマ肺炎 1 例 (10 歳女)
幡 多	さたけ小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症 3 例 (1、2 歳男、1 歳女) 口唇ヘルペス 1 例 (3 歳女)
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 1 例 (1 歳女)

★全国情報

第12週 (3/17~3/23)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核275例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症6例、腸チフス2例

4類感染症：A型肝炎12例、つつが虫病1例、デング熱5例、日本紅斑熱3例、ブルセラ症1例、マラリア1例、レジオネラ症7例

5類感染症：アメーバ赤痢17例、急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、ジアルジア症2例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群12例、梅毒8例

侵襲性インフルエンザ菌感染症2例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症20例
先天性風しん症候群1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん8例、麻しん23例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、E型肝炎1例、オウム病2例、チクングニア熱1例、デング熱1例、マラリア1例、急性脳炎17例、クリプトスポリジウム症1例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、

★先天性風疹症候群－2012年～2014年第12週現在－

先天性風疹症候群（CRS：congenital rubella syndrome）とは、風疹に感受性のある妊娠20週頃までの妊婦が風疹ウイルスに感染し、出生児に白内障、先天性心疾患、難聴等の症状が見られたものである。2005～2011年まで、CRSの報告は年0～2例で推移していた。2012年には4例、2013年には32例、2014年第12週（2014年3月26日現在）までには8例の計44例が報告されている。ここでは2012年以降の44例について述べる。報告都道府県としては、東京都16例、大阪府6例、埼玉県4例、神奈川県、兵庫県各3例、愛知県、三重県、和歌山県各2例などが報告されている。性別は男性24例、女性20例で、母親の風疹ワクチン接種歴は、なし15例、不明20例、1回接種あり9例であった。母親の妊娠中の風疹発症は、あり30例、不明10例、なし4例であった。発症を認めた30例のうちの15例において発症時の妊娠週数の記載があり、その中央値は9週（3～18週）であった。

CRSの検査室診断は、PCR法のみによるものが7例、血清IgM抗体のみによるものが25例、PCR法と血清IgM抗体によるものが12例であった。3徴として知られる白内障、先天性心疾患、難聴の主な症状については、先天性心疾患のみ（20例）、難聴のみ（12例）、白内障のみ（3例）、先天性心疾患・難聴の2徴合併（3例）、白内障・先天性心疾患・難聴の3徴合併（1例）となっていた。他の症状としては、紫斑（19例）、生後24時間以内に出現した黄疸（10例）、脾腫（9例）、小頭症（4例）、色素性網膜症（3例）、X線透過性の骨病変（3例）、精神発達遅滞（1例）が認められた例があった（重複含む）。先天性心疾患24例中、動脈管開存症は18例と最も多かった。

過去の報告からも、風疹の流行があるとCRS発生が増加することが知られている。2011年から始まった風疹の流行は2013年第19～22週にピークを迎えた。妊婦が風疹に罹患してからCRS児が出生するには、20～30週程度の時間差が生じることが知られており、実際2013年第43週～2014年第2週にCRSの報告が増加した。

なお、風疹では不顕性感染が15～30%程度あることから、妊婦が風疹ウイルス感染に気付かずに経過している場合がある。また、CRSにおいて最も多い難聴などの症状は出生直後には把握されにくいことにより、乳児期のしばらくの期間、CRSの症状把握が積極的に行われなければ診断が遅れ、患児に対する適切な療育支援の開始が遅れる可能性がある。さらに、CRSにおいては、鼻咽頭、尿から、数カ月にわたって風疹ウイルスが検出されることもあるので、周りにいる感受性者への対応についても考慮する必要がある。

具体的に、CRSを確実に診断するためには、妊娠初期に風疹ウイルスに感染した母より出生した新生児や新生児聴覚検査等でCRSが疑われる新生児を対象とした確認が挙げられる。また、乳児健診～1歳半健診時など母子保健事業を活用して児の症状を丁寧に確認することで早期診断に繋げることが出来ると考えられ（例：墨田区保健所によるポピュレーションアプローチ）、患児の成長発達にも良い効果が得られるのではないかと期待される。今後は、患児に対する医療・公衆衛生両面の望ましい療育支援のあり方について議論を深め実施していくことが重要である。また、予防として、妊娠を希望する女性への予防接種と、そのパートナーとなる男性への情報提供と風疹の予防啓発が必要である一方、2020年を目標とした風疹ウイルスそのものの国内からの排除達成に向けた取り組みが重要である。

（国立感染症研究所感染症疫学センター）

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第14週 平成26年3月31日(月)～平成26年4月6日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第14週					計	前週	全国(13週)	高知県(14週末累計)		全国(13週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H25/12/30～H26/4/6	
インフルエンザ	インフルエンザ		19	51	126	37	11	44	288 (6.00)	648 (13.50)	59,954 (12.13)	10,030 (208.96)	1,338,573 (271.96)
小児科	咽頭結核熱				2				6 (0.20)	7 (0.23)	1,026 (0.33)	74 (2.47)	14,954 (4.77)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				5			3	9 (0.30)	21 (0.70)	5,269 (1.68)	236 (7.87)	76,452 (24.39)
	感染性胃腸炎		2	28	104	46	5	16	201 (6.70)	195 (6.50)	17,912 (5.70)	4,068 (135.60)	316,886 (101.11)
	水痘		2	8	8	3	1	7	29 (0.97)	34 (1.13)	3,189 (1.01)	425 (14.17)	47,420 (15.13)
	手足口病								()	1 (0.03)	241 (0.08)	12 (0.40)	3,799 (1.21)
	伝染性紅斑				1				1 (0.03)	()	420 (0.13)	11 (0.37)	4,466 (1.43)
	突発性発疹		1	1	9				11 (0.37)	16 (0.53)	1,410 (0.45)	141 (4.70)	16,721 (5.34)
	百日咳								()	()	32 (0.01)	2 (0.07)	339 (0.11)
	ヘルパンギーナ					1			1 (0.03)	()	86 (0.03)	2 (0.07)	686 (0.22)
	流行性耳下腺炎			8	16	6	8	12	50 (1.67)	54 (1.80)	787 (0.25)	646 (21.53)	8,998 (2.87)
RSウイルス感染症				1			1	2 (0.07)	9 (0.30)	641 (0.20)	267 (8.90)	18,227 (5.82)	
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	14 (0.02)	()	108 (0.16)
	流行性角結膜炎				4				4 (1.33)	()	339 (0.49)	10 (3.33)	4,611 (6.79)
基幹	細菌性髄膜炎			1					1 (0.13)	()	11 (0.02)	4 (0.50)	99 (0.21)
	無菌性髄膜炎								()	()	14 (0.03)	5 (0.63)	188 (0.40)
	マイコプラズマ肺炎				7				7 (0.88)	5 (0.63)	114 (0.24)	44 (5.50)	1,343 (2.85)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	1 (0.13)	5 (0.01)	4 (0.50)	109 (0.23)
	感染性胃腸炎			1	1				2 (0.25)	3 (0.38)	132 (0.28)	23 (2.88)	955 (2.02)
計		24	98	284	93	30	83	612		91,596	16,004	1,854,934	
(小児科定点当たり人数)		(7.25)	(11.06)	(21.14)	(26.06)	(12.25)	(13.30)	(16.34)		(405.11)			
前週		32	139	513	116	57	137		991				
(小児科定点当たり人数)		(10.75)	(14.87)	(36.99)	(28.26)	(18.00)	(19.90)		(24.72)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第14週					計	前週	全国(13週)	高知県(14週末累計)		全国(13週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H25/12/30～H26/4/6	
インフルエンザ	インフルエンザ		4.75	4.64	7.88	7.40	2.75	5.50	6.00	13.50	12.13	208.96	271.96
小児科	咽頭結核熱				0.18			0.20	0.20	0.23	0.33	2.47	4.77
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				0.45			0.60	0.30	0.70	1.68	7.87	24.39
	感染性胃腸炎		1.00	4.00	9.45	15.33	2.50	3.20	6.70	6.50	5.70	135.60	101.11
	水痘		1.00	1.14	0.73	1.00	0.50	1.40	0.97	1.13	1.01	14.17	15.13
	手足口病									0.03	0.08	0.40	1.21
	伝染性紅斑				0.09				0.03		0.13	0.37	1.43
	突発性発疹		0.50	0.14	0.82				0.37	0.53	0.45	4.70	5.34
	百日咳										0.01	0.07	0.11
	ヘルパンギーナ					0.33			0.03		0.03	0.07	0.22
	流行性耳下腺炎			1.14	1.45	2.00	4.00	2.40	1.67	1.80	0.25	21.53	2.87
RSウイルス感染症				0.09			0.50	0.07	0.30	0.20	8.90	5.82	
眼科	急性出血性結膜炎										0.02		0.16
	流行性角結膜炎				4.00				1.33		0.49	3.33	6.79
基幹	細菌性髄膜炎			1.00					0.13		0.02	0.50	0.21
	無菌性髄膜炎										0.03	0.63	0.40
	マイコプラズマ肺炎				1.40				0.88	0.63	0.24	5.50	2.85
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.13	0.01	0.50	0.23
	感染性胃腸炎			1.00	0.20				0.25	0.38	0.28	2.88	2.02
計		7.25	11.06	21.14	26.06	12.25	13.30	16.34			405.11		
(小児科定点当たり人数)													
前週		10.75	14.87	36.99	28.26	18.00	19.90		24.72				
(小児科定点当たり人数)													

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869